

# 一般質問

6月議会では、17名の議員が質問に立ちました。全質問項目は下記のとおりです。5ページからの本文は、質問をした議員本人が要約して執筆しています。

## 17名の議員が聞いた!

## 地域住民の不安解消について

**問** 特定空き家等の基準まではいかないが、管理不全などで地域住民が防犯・環境等で困っているものや、不安に思っている空き家に対して、市としてどのような対応をしていくのか伺う。

**答** 特定空き家に至らず、さらに所有者不在の場合、相続等の権利関係が複雑であったり、債券などの利害関係者がいるなどで、市でも関与できない場合がある。しかし、指摘のような事例の場合に限っては、条例に則り所有者不在による告知を行って、当面はシートで覆うなどの緊急安全措置を施し、少しでも市民の不安要素の解消と、安心・安全の確保に努めていきたい。

**問** 近年、全国的に自転車歩行者に衝突するなど、自転車側が加害者になる事故により、高額な損害賠償請求事例が発生している。

保険に入っていないことで極めて困難な状況に陥ることから、今後、自転車通学を許可する際のへ



特定空き家に至らない空き家



渡邊雄三 議員(公明党)

**答** 子どもたちの安全・安心な生活を守ることも、教育委員会の義務の一つと考えている。市としては、引き続き交通安全教室等で保護者へ保険加入についての啓発を進めながら、保険加入義務化について研究していきたい。

**問** ルメット着用義務と同様に、保険加入を条件にすべきと思うが、いかがか伺う。

**答** 子どもたちの安全・安心な生活を守ることも、教育委員会の義務の一つと考えている。市としては、引き続き交通安全教室等で保護者へ保険加入についての啓発を進めながら、保険加入義務化について研究していきたい。

## イツバンシツモンデ・ギンガ・グット・チカクナル

## 総務行政と教育行政について



白井文雄 議員(輝翔会)

**問** いろいろな附属機関の中で、幾つもの委員を兼ねている人がいるが、負担ではないか。近隣の現状はどうか。また、各審議会の中では、目的が達成されて整理する必要があるのではないかと。いろいろな審議会から必要性が低下し、形骸化していないか。

**答** 現在、51機関に545名を委嘱し、当て職として134名が該当している。市の附属機関の設置基準は、市長就任時に課題点として、再任の制限や併任数、女性の積極的な登用や会議の公開などについて、県の

基準を参考にしつつあった。現在は、議員ご指摘のとおりに努めている。また、新潟・三条市は3つ、長岡・見附市は併任の制限がなかった。整理・統合は年の途中でも進めており、平成23年度には廃止8機関、社会情勢等の関係で3機関の合計11機関を整理した。近々に1機関を廃止する予定であり、議会にも諮っている。

**問** 学校教職員の多忙化解消アクションプランは3月に終わったが、各校への県通知は徹底されたのか。市教育委員会での実質的な反省点はどんなところにあったのか。教育委員会は今後どんな取り組みをして、どう指導していくのか。

**答** 校務支援システムなどを活用して、業務の削減などを行なった。市からの通知は行っていないが、県通知で徹底するように努めており、19時を退勤の目安とすることや年休消化に努め、意識改革を図るように取り組んでいる。道半ばではあるが、取り組みを継続していきたいと考えている。



多忙化解消アクションプラン

**5p 渡邊雄三 議員** (公明党) No.1  
1. 自転車利用者の安全対策について  
2. 空き家対策について  
3. 市民の安心・安全について

**5p 白井文雄 議員** (輝翔会) No.2  
1. 総務行政について  
2. 教育行政について

**6p 山本知克 議員** (大河の会) No.3  
1. アクティブシニア活躍のために  
2. 生涯学習活動からボランティア活動へつなげるには  
3. 犯罪抑止のために  
4. 人権教育について  
5. 高齢者の利用しやすい環境を求めて

**6p 小林由明 議員** (輝翔会) No.4  
1. 福祉施策について  
2. 人材活用について  
3. 産業史料館について

**7p 堀 勝重 議員** (輝翔会) No.5  
1. 平成28年度市政方針について

**7p 埴 豊 議員** (スワロークラブ) No.6  
1. 福祉政策について  
2. 教育問題について  
3. 産業問題について

**8p 土田 昇 議員** (日本共産党) No.7  
1. 大河津分水路の拡幅工事について  
2. 国道116号交差点改良事業について  
3. 県央大橋西詰周辺地区の予算について  
4. 旧燕工業高校跡地利用について

**8p 山崎光男 議員** (スワロークラブ) No.8  
1. 燕市の今後10年を見据えた燕マラソンの拡充と、交流・応援(燕)人口の増加について

**9p 樋浦恵美 議員** (公明党) No.9  
1. B型肝炎ワクチンについて  
2. 食品ロス対策について  
3. 定住人口増戦略について

**9p 齋藤信行 議員** (大河の会) No.10  
1. 新教育長に新任の感想について  
2. 少子化対策について

**10p 山崎雅男 議員** (輝翔会) No.11  
1. 安全・安心で暮らせるまちづくりを推進するにあたり  
2. 農業情勢について

**10p 柳川 隆 議員** (市民クラブ) No.12  
1. 第2次燕市総合計画について

**11p 宮路敏裕 議員** (日本共産党) No.13  
1. 地方をとりまく景気動向と産業の振興について  
2. 教育環境整備の促進について

**11p 藤井秀人 議員** (市民クラブ) No.14  
1. 都市計画について  
2. 観光の振興について

**12p 長井由喜雄 議員** (日本共産党) No.15  
1. 国民健康保険の都道府県単位化問題について  
2. 利用者、議会をないがしろにする公立保育園の民営化について

**12p 大岩 勉 議員** (スワロークラブ) No.16  
1. 市長の政治姿勢について  
2. 教育現場の振興策について  
3. 防犯・消費者保護対策の推進について

**13p 夕ナカ・キン 議員** (無所属) No.17  
1. 教育行政について  
2. 産業史料館の再生について  
3. (仮称)観光交流センター等整備運営事業について

タクサンノ・ユトラ・キキマシタ

# シニア世代、あと20年を生き抜く

## 問

「楽しそうに健康教室や友達と買い物に出かける妻の姿を横目に、何かしなくてはと思うが、これまで仕事を中心の人生だった。退職後、急に環境が変わっても、これといった趣味もなく日々淡々と過ごしている」。なんともつたない。知識や経験豊かなシニア世代から社会参加が求められている中で、高齢化が進み将来に不安を持ち生活している、そんな声も珍しくない。生活の困りごとやボランティアニーズ発掘のためアンケート調査を行い、市民参画を検討してはどうか伺う。

## 答

今年度後半に40歳以上を対象に、高齢者と介護保険関係のアンケート調査を行う。対象となる年齢層に近く、項目の補完や設問を工夫することで、対応は可能と考える。

## 問

シニア世代を対象にした生涯学習講座も多いが、学習経験を生かして、社会活動につなげる方は1割にも満たない。ボランティア活動普及に共鳴し、専門



山本知克 議員(大河の会)

的な資格や経験を持つ人からも参画を募るための考えを伺う。

## 答

男性を対象にした地域活動デビュー講座を、燕市社会福祉協議会と連携して本年9月より行う予定である。また、教育委員会でも学習の成果を積極的に還元していただくために、「我が町の達人」や「まちの先生」等の人材バンク制度の再構築を図り、地域や団体からの活用を進める。



# 変化に対応する農業の振興について

## 問

①新たな産業振興部による、燕農産物の販路拡大、農工商の連携による施策及び事業等や強化、支援についての具体的な取り組み ②燕青空即売会において、産業振興部の支援により、一般農家の方々が生産した農産物等を出店し、販売してみてもいいか ③新潟市南区の果樹農家で経営がうまくいっている方がおられると聞いたことがある。このような方々を講師に迎え、講演会等を開催してみたいか伺う。

## 答

農業を取り巻く状況は、国の米政策の見直しやTPPへの方向性、厳しい環境が待ち受けており、農工商、観光の施策の連携による相乗効果を発揮していくことが重要である。産業振興部長には「部長目標宣言」を立ててもらい、「農工商の連携、新たな事業の構築」について宣言した。今後は、燕における商工業の強みを農業の分野にも積極的に取り入れながら、産業全体で活性化を図っていくことができるよう取り組みを進めていきたい。



堀 勝重 議員(輝翔会)

を進めていきたい。①は、2課にまたがる部内のプロジェクトチームで検討を進めている。②は、メイン通りの枝道に農産物エリアとして出店できるよう進めたい。③は、「若手、女性農業者支援事業」のキックオフミーティングにおいて提案したい。



ミチカナ・モンダイヲ・ギンガ・キキマス

# 超高齢化社会に向けた介護人材確保

## 問

10年後の平成37年には、65歳以上高齢者の約3人に1人、約1300万人から1400万人が、認知症患者とその予備軍となると言われている。認知症への施策は、社会保障制度を支える現役世代への支援とも言え、認知症の大幅な増加が見込まれる今後は、さらなる取り組みの拡充が必要であると考えているが、市の考えを伺いたい。

## 答

介護施設の整備を着実に実施するとともに、認知症の方や介護する方が安心して暮らせるよう、地



小林由明 議員(輝翔会)

# 社会の持つ潜在的資源の活用を！

## 問

就労支援を行っている福祉事業所と、民間事業者との交流や結びつけの機会を積極的につくっていくべきではないか。

## 答

福祉事業所と民間事業者による交流や結びつけについては、自立支援協議会で協議していきたいと考えている。

## 問

空き家等を活用し、軽度認知症の方のお世話をお願いできる場の設置を、住民との協働により実現できないか。

## 答

空き家等の活用については、介護予防の面から利用できるかどうか、今後関係課と連携し研究を進めたいと考えている。



「つばめキャンドル」では、障がいを持つ方による繊細で鮮やかなデザインのキャンドルが製作販売されている

## 問

現在、第6期目の高齢者介護の取り組みが行われているが、介護施設の設置要望に追いつく施設整備は難しいのが現実である。また、一方では高齢者を介護する人材不足も大きな問題である。施設整備ができて、それを運営、維持する人材が確保できないければ、入所希望を満たすことはできない。介護施設で働く方の待遇問題が大きな社会問題となり、今後予想される超高齢化に向け、人材の確保・待遇改善は当然として、どのような方策を用いて人材の確保を図るのか聞きたい。

## 答

就労支援策と人材の掘り起こし策については、今年度より、現認者向け資格取得研修費用の2分の1を助成するなどの介護人材育成事業に取り組む。介護の仕事に若いころから関心や興味を持っていただくため、市内介護サービス事業者の協力を得て、中学生の職場体験や高校生のインターンシップの実施を予定しており、さらに、介護という仕事のイメージアップを図る取り組みも検討する。



埜 豊 議員(スワロークラブ)

# 旧県立燕工業高校の跡地利用は

**問** 旧燕工業高校の跡地については、合併後もなく、厳しい財政状況の中で買入価格1億5358万3000円で買収求めたが、そのときもいろいろと問題があった。

その後、跡地利用として県武道館の誘致に失敗し、それ以後、事業者提案制度も結果的に実現できず、今回6月議会での説明によれば、解体費用3億7908万円で合計5億3266万3000円の一般財源が必要になってくると思う。市長は、いま一歩立ち止まって考えるべきと思うが、その認識について伺う。

**答** グラウンドについては、「特別養護老人ホームの工事が終わった後に若者が集う場所に」との審査委員会の意見を踏まえ、子どもたちのためのサッカー施設の充実を願う要望なども考慮しながら、今後検討していくこととしている。

また、校舎棟第3棟・4棟については、当面第1棟・2棟に一時保



土田 昇 議員(日本共産党)

管してあった遺跡資料の置き場として当面活用しつつ、旧燕工業高校の設立の経緯、あるいは県から譲渡を受けた経緯などを踏まえて、跡地にふさわしい利活用の仕方を検討することとしている。いずれも市民の便益に配慮、満足していただけるような施設として有効に活用していきたいと考えている。



旧燕工業高校とグラウンド

# 食品ロス対策、定住人口増戦略について

**問** 「食品ロス」とは、食べられるのに廃棄されることである。「飲食店で残さず食べる運動」の展開等、市民・事業者が一体となった取り組みが重要だが、考えを伺う。

**答** 「食品ロス」については飲食店で多く、宴会時における食べ残しが多くを占めている。県内外の自治体では、さまざまな取り組みがなされている。先進自治体の事例を参考に検討していきたい。

**問** 本年4月以降に生まれたゼロ歳児を対象とする、B型肝炎ワクチンの10月からの定期接種化について、燕市の取り組みを伺う。

**答** 9月末に対象者全員に個人通知を送付する。その他、広報・ホームページへの掲載、実施医療機関ではポスター掲示等を行い、周知を図る予定である。

**問** 若者のUターンを促進するため、「東京つばめ」と事業を昨年度から実施しているが、



樋浦恵美 議員(公明党)

**答** 首都圏における燕市出身の若者の参加を募り、52名でスタートした。市内企業が開催する就職説明会に足を運び、地元就職への強い思いを持つようになったメンバーもいる。今年4月に4人のメンバーが市内等の企業に就職し、1年目としては効果が現れつつあると受けとめている。今後も事業の充実に取り組んでいきたい。



松本市で取り組んでいる「30・10運動」の啓発用コースター

イツシヨニ・ツバメシノミライヨ・カンガエマセンカ

# 少子化対策事業について

**問** 少子化対策事業の実施状況について、市民からの問い合わせや意見・要望等はあるか。

**答** イベントへの参加を検討されている方からは、対象年齢などの参加要件について、また独身のお子様をお持ちの親御さんからは、婚活イベントの開催予定やその内容などの問い合わせがあり、参加要件に見合う市や燕縁の会などの出合い応援団のイベントを紹介させていただいている。また婚活イベント等においては、参加者アンケートを実



齋藤信行 議員(大河の会)

**問** 今年の第27回燕マラソンを實際に走ったが、まだまだ工夫の余地や改善点が多く見受けられた。来以降、もっと多くのランナーに支持される大会にしていきたい。現行のレース全体を見直し、さらに魅力ある大会にできないか。

**答** 3年後の第30回記念大会に向けて、より多くのランナーに愛され支持される大会となるように、今後、教育委員会からいろいろ企画を考えてもらいたいと思っている。

**問** 昨今、マラソン大会は長い距離ほど人気がある。燕市



山崎光男 議員(スワロークラブ)

# 燕マラソンを拡充して、来燕者増を

**答** ハーフマラソンが開催されるかどうかは別として、コースなどの見直しを含め、さらに魅力的な大会となるよう研究し、関係機関と協議していきたい。

**問** 燕マラソン大会会場に飲食ブースや物販コーナーを設けて、分水おいらん道中のようなイベントに育て、燕市の文化を広く市・県内外にアピールできないか。

**答** 今年のマラソン大会は、燕市体育協会・ミズノグループに業務を委託し、一層大会が盛り上がった。今後はこの大会を通して、燕市の特色を広くアピールできるように、工夫を図りたい。



当日は悪天候にもかかわらず、533人のランナーが完走した



婚活イベント「つばコンin恋花火大会2016」のポスター

**問** 新教育長に、燕市の教育に対する思いについて伺う。

**答** 私としては、子どもたちの健やかな成長と夢の実現に向けて、さまざまな事業を推進し、例えば伝統文化を継承する人材、地域社会や産業の発展を担う人材など、将来の燕や新潟を支える人間を、人材を育成していきたいと考えている。

# 空き家・空き地活用 バンクについて

**問** 空き家バンクに登録されていた粟生津地域屈指の名門である鈴木家の跡地に、空き家等の地域貢献モデルにふさわしい小規模多機能施設「長善のさと」が完成し、不審火解消としても喜ばれているが、空き家・空き地の所有者登録申し込み数と活用申し込みについて伺う。

**答** 空き家・空き地活用バンクでは、平成24年度から今年5月末までの累計登録数は、市内所有者46件、市外所有者33件の計79件。活用申し込み数は市内26件、市外18件の合計44件で、うち34件が成約になり、成約率は77%である。



増えてきた空き家

**問** 小規模多機能施設「長善のさと」のように、民設民営化による施設等への有効活用に推進していくべきと思うが。

**答** 富永地域で若い世代が意欲を持って農業に取り組み、農地集積・集約化に向けて圃場整備を切に願っているが、中断の理由は、  
**問** 富永地域で若い世代が意欲を持って農業に取り組み、農地集積・集約化に向けて圃場整備を切に願っているが、中断の理由は、  
**答** 国道116号吉田バイパスとの関係で手順を踏み、市として期成同盟会を立ち上げ、国県に強く要望していく体制を整えたい。



山崎雅男 議員(輝翔会)

**問** 「長善のさと」は、諸条件が合致した極めてまれなケースで、全国に誇れる事例。今後、も空き家対策を積極的に推進したい。

**答** 障がい児者・介護施設等や、若い世代の移住希望者に着目されるような制度のあり方等、いろいろな角度・視点で市民に喜ばれるような施設の利活用をお願いしたいが。

**問** 具体的施設利活用について、庁内検討委員会で検討したい。

# 就学援助制度の一層の充実を

**問** 国の貧困対策大綱では、地方自治体に「貧困対策」の計画の策定をうたっている。就学援助制度は対策の一つである。市は、学校とも連携をとって周知し、目配りしていると言われるが、その上で課題はあるのか。

**答** 教育委員会では、毎年1月下旬から2月上旬まで、学校を通じて就学援助制度のお知らせと申請書を全児童生徒に配布している。また、ホームページや子育てガイド、「広報つばめ」2月1日号にも掲載し、周知を図っている。周知方法や申請などについて、今のところ要望などは寄せられていないが、今後とも学校と連携して、十分に情報が行き届くように努めていく。



宮路敏裕 議員(日本共産党)

**問** 助かることであり、また願いである。新潟市では中学校入学時の支給時期を、3月に前倒しする改善措置を行った。児童生徒の学習権・進学権の保障という観点からも、同じ措置を検討すべきではないか。

**答** 本市では、新入学児童生徒学用品費の支給は、課税状況等の確認後の7月に実施している。全県的には入学後に支給する市町村が多いが、入学前の支給が可能か研究していきたい。

援助費目	説明
学用品費	ノート・筆記用具等
通学用品費	通学用靴・雨傘等
校外活動費	校外活動に必要な交通費・見学費
新入学児童生徒学用品費	ランドセル・カバン等

就学援助費目の一部抜粋

ツギノ・ギカイハ・クガツ・デス

# 3つの人口増戦略について

**問** 活動人口増戦略の副題「キラキラ輝く人を増やす」。これをどうやって把握するのか。

**答** 活動人口というよりは「市民一人ひとりが主役となって主体的に行動する」。そういう人を私もキラキラ輝いている人たちだというふうには捉えている。具体的には、健康づくりマイスターリー運動に参加する人、ボランティア活動に主体的に取り組む人などである。

**問** 国や県の施策では、人口問題や人口減対策がある。地方の自治体も同様で、どこも「人口増戦略」



柳川 隆 議員(市民クラブ)

**答** 人口は総合戦略であるので、全てにおいてやる中で、人口減少の問題に対しても寄与するべきだ。

**問** 国上山周辺や大河津分水の観光発信の新たな具体的施策は考えているのか。

**答** 国上山周辺の観光発信では、今年度の道の駅・国上の改修を行い、食堂などのリニューアル、金属加工製品の販売など誘客に力を入れていく。新設するインフォメーションコーナーでは、良寛・大河津分水路などの情報発信をしていきたい。弥彦村との広域連携会議でも、首都圏からの誘客をターゲットにこの地域を発信する。さらに地方創生交付金を活用し、長岡市など12の市町村と

燕市の人口と世帯	
男性	39,717人(-10人)
女性	41,729人(-10人)
合計	81,446人(-20人)
世帯	28,900世帯
平成28年5月末日現在( )は前月比	
市民課	

市のホームページ・広報に掲載

**問** 2つ目の活動人口増戦略3つ目の交流・応援人口増戦略は増やすことができるのは分かるが、それは人口問題と関係がなく、自治体が恒常的にやる必須事項だと思いませんか。

**答** 全体として、ほかの2つに人口は増やせると思う。だから人口増である。

**問** この「3つの人口増戦略」と「日本一輝く燕市を目指して」は、市長が立案されたということでは共通点がある。1、奇をてらう。2、仰々しい。3、トリック的、マジック的レトリックを使う。4、意識の錯覚が受け手に生じる。この4点をどう思うか。



国上山にある千眼堂吊り橋

**問** 奇をてらう意識は全くない。

**答** 奇をてらう意識は全くない。

**問** 環境変化に伴う転用の見直しも可能か。

**答** 農振以外は比較的スムーズに許可されるが、農地法などの改正で農振除外は以前よりかなり厳しくなっている。

# 国上山・大河津分水のさらなる発信



藤井秀人 議員(市民クラブ)

# 公立園民営化強制に 保護者は不信感

**問** つばみ、吉田西太田保育園の民営化(案)が議会で示され、その内容は、保育園利用の当事者である子どもたちや保護者・地域やそこで働く保育士・議会をもちがしるに、「施設の老朽化」など、一方的に当局の都合のいい民営化の理由、選定理由を連ねているものだった。「6月末に説明会、7月に事業者に要項を配布」という、強引な民営化押しつけのひどい内容だが。

**答** 少子化による園児数の減少・老朽化による施設の整備、多様なニーズに対応するため、適正配置実施計画を策定し、施設の統廃合や幼保の一体化・公立保育園の民営化を進めてきた。今後この計画を進めていく。計画でも「各地区1〜2園の民営化を目指します」と記載している。「老朽化が進んでいる」という部分は誤記だ。

**問** これでは「市民は言われたことを聞きなさい」ということ。市民は納得しない。私が行ったアンケートでは「なぜ公立保育園を吉田南小学校区からなくさなければならぬのか」「既に改築済



長井由喜雄 議員(日本共産党)

**答** み(一昨年3億8000万円余の市費投入)の西太田保育園を民営化するのには矛盾している。「なぜ、つばみなのか。考える材料の提示もなしに民営化などと言わないでほしい」等、親は不安と不信感でいっぱいだ。この声にどう応えるのか。公と私立という部分で大きな差はないというふうにか考えている。

現在の公立保育園に不満はありますか？		
① 不満はない	39人	75%
② 多少不満	11人	21%
③ 不満だ	0人	0%

  

現時点で「民営化」に賛成ですか？ 反対ですか？		
① 賛成する	0人	0%
② 反対する	23人	44%
③ どちらとも言えない	9人	17%
④ 説明を聞かないと判断できない	20人	38%

(回答数両園合計52名)

民営化についての緊急アンケート(長井実施)

# 箱物でうまくいって いる例はない

**問** 県央大橋西詰周辺地域整備基本計画策定懇談会が、平成26年8月から平成27年6月まで7回開催されている。その中で、燕三条地場産業振興センター(地場産センター)が道の駅となるという情報を受け、委員の反応や意見は。

**答** 地場産センターが道の駅に登録申請したことで、こちらはより明確な差別化を図り、相乗効果を上げるべきとの意見である。

**問** 懇談会の議事録をチェックしたところ、産業史料館の重要性や目的を理解していないと思われる意見が多数見られるが。

**答** いろいろな意見を聞かれたというふうには理解している。委員は地場産センターを視察されたか。

**問** 懇談会の中で視察はない。物産スペースは農産物の直売と合わせて300平方メートルだが、地場産センター物産館のスペースは。



タナカ・キン 議員(無所属)

**答** 300平方メートルと聞いてきたが、800平方メートルである。部長も地場産センターへ行って話を聞いていない。国道の駅には農産物の直売所があるが。

**問** 懇談会の視察先として、国道の駅に行っていない。

**答** 申しわけないが、物事を進めるときは考え方が全くなっていない。農産物直売所のスペースは。



地場産センター内の物産館

**答** 資料を持ってきていない。

# 公民館・体育館など使用料見直し検討

**問** 公民館・体育施設・文化施設などの使用料見直しはされるのか。小中高生や文化サークル活動者・高齢者による健康教室に対する減免対応はどのようになるのか。防災無線のチャイムメロディーを「みんなつばめのこども」など、分かりやすい音楽に変えるべきではないか。

**答** 「社会教育施設使用料見直し検討委員会」を設置して課題や論点を検討し、減免基準の整備を図り、まとも次第、議会や利用団体に説明する。メロディーは、ほかの曲を聴きたいとの声もあるので前向きに検討する。



大岩 勉 議員(スワロークラブ)

**問** 学校運営に外部人材を活用し、教職員の負担軽減対策を考へるべきではないか。高校再編計画で、分水・吉田高校が対象であるが、存続に向けた行動をすべきではないか。選挙啓発活動として「共通投票所」の設置をすべきではないか。

**答** 学校応援団事業の実施と、地域の人材を活用し学校支援をしていく。燕市内の高校が統合されないよう作戦を練っていく。「共通投票所」は、今後の検討事項とする。

**問** 防犯カメラの補助拡大と、悪質電話対策の推進について伺う。

**答** 現在33台設置されており、今後も最大限の支援をしていく。警察と連携し、特殊詐欺被害の防止に努めていく。

施設	【施設使用料】			
	午前	午後	夜間	一日
アリーナ	5,500円	7,700円	8,800円	22,000円
ミーティングルーム	1,000円	1,500円	1,500円	4,000円
野球場	1時間につき 300円			
ソフトボール場	1時間につき(1コート) 200円			
サッカー場	1時間につき 300円			
トラック	1時間につき 300円			
多目的広場	1時間につき 200円			
放送施設	1回につき 500円			

(体育館)  
 午前…午前9時から正午まで 午後…午後1時から午後5時まで  
 夜間…午後6時から午後9時30分まで 一日…午前9時から午後9時30分まで  
 (その他の施設) 午前9時から午後7時まで

# 議会日誌

主な動きをお知らせします

4月25日	【産業建設常任委員会】市内視察
5月13日	【市民厚生常任委員会】市内視察
5月20日	【総務文教常任委員会】市内視察
5月26日	【議会運営委員会】行政視察(～27日)
5月30日	会派代表者会議
6月8日	議会運営委員会・議会報等特別委員会
6月9日	全員協議会・議員協議会・会派代表者会議
6月13日	議会報等特別委員会
6月16・17・20・28日	本会議
6月22日	総務文教常任委員会
6月23日	市民厚生常任委員会
6月24日	産業建設常任委員会
6月28日	議会運営委員会・全員協議会・議会運営委員会・タブレット端末の操作研修会・受賞祝賀会
7月4日	【産業建設常任委員会】行政視察(～6日)
7月5日	【市民厚生常任委員会】行政視察(～7日)
7月11日	【会派「輝翔会」】行政視察(～13日) 議会報等特別委員会
7月13日	【会派「大河の会」「スワロークラブ」】行政視察(～15日)
7月27日	【総務文教常任委員会】行政視察(～29日)

# 視察の受け入れ

5月18日	千葉県柏市議会会派「柏清風」行政視察
5月27日	栃木県真岡市議会「議会活性化等検討委員会」行政視察
7月1日	千葉県成田市議会「建設水道常任委員会」行政視察
7月2日	青森県八戸市議会会派「公明党」「自由民主・市民クラブ」「ぎずなクラブ」行政視察
7月5日	山形県河北町議会「総務産業常任委員会」行政視察
7月13日	愛知県みよし市議会「総務協働委員会」行政視察 滋賀県草津市議会会派「草政会」行政視察
7月21日	神奈川県横浜市議会「市民・文化観光・消防委員会」行政視察 群馬県千代田町議会「総務文教常任委員会」行政視察
7月25日	神奈川県茅ヶ崎市議会会派「絆ちがさき」行政視察
7月27日	岐阜県各務原市議会「市議会だより編集委員会」行政視察
7月28日	京都府向日市議会会派「新政クラブ」行政視察

タクサン・シサツニ・キテイタダキマシタ